

美しい村づくりの推進に向けた

令和2年度 実施事業調査 集計表

1 調査の目的

中川村美しい村づくり協議会では、美しい中川村での暮らしを将来にわたって守り育て、引き継ぐため、平成30年2月8日に中川村「日本で最も美しい村」づくり推進計画を策定しました。具体的な実施事業を確認し、全体で共有するため本調査を実施しました。

2 調査対象者

協議会員（53 会員）及び村内 27 地区

3 実施方法

(1) 調査期間

協議会員 令和2年3月19日（木）～4月30日（木）

地区 令和元年12月6日（金）～令和2年1月31日（金）

(2) 配布及び回収

郵送にて配布、役場窓口にて回収

4 回収結果

	会 員	地 区	合 計
回 収	24 通	25 通	49 通
未回収	29 通	2 通	31 通
送付数	53 通	27 通	80 通

(回収率 61.25%)

(参考：昨年度回収率 49.38%)



the most beautiful
villages in japan

中川村
長野県

5 集計結果

中川村「日本で最も美しい村」づくり推進計画に沿って具体的な施策ごとに調査結果を掲載します。

令和2年（2020年）8月 中川村美しい村づくり協議会

実施事業調査集計表

基本方針1 「地域経済の振興」の実現に向けて

(1) 地域の中で循環する経済を確立するために

① 農地を守り活用する取り組み (1-(1)-①)

農地、農業施設の維持管理

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
米澤酒造(株)	中川村産米の積極的使用	年間(一部4月~10月)	飯沼地区の棚田の維持を①酒米で日本酒(おたまじゃくし)を醸造②米澤酒造、かんでんばグループ本社の人員で田植え、稲刈り、土手草刈りを応援。また、飯沼地区以外の酒米を使用した日本酒(中川村のたま子)を醸造、拡販することにより恒久的な水田の維持に間接的に貢献をする。	全国の酒蔵は約1,200社あり競争が激しい。現在は国際的な賞を受賞する酒もでき始めてきた。新規販路開拓が課題。	1-(3) 2-(1)-① 2-(1)-② 3-(1)
****	飯沼棚田の酒米づくり(飯沼農業活性化研究会)	2月~10月	棚田の整備・管理全般 土手草刈り、草焼き等 5月田植え 9月稲刈り	会員の高齢化と人員不足で日常の管理が大変になっている。おいしい「おたまじゃくし」の酒米としてあと何年継続できるかが大きな課題である	1-(2) 2-(1)-① 2-(2)

農業法人、大規模農家、新規就農者など農業の担い手確保

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
該当なし	-	-	-	-	-

農業経営の安定化

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
上伊那農協中川支所	農家の経営安定に向けた販売及び技術指導	通年	中川支所で策定する、農業振興ビジョンにそった農業振興により、系統出荷のメリットを生かした販売対応と栽培管理指導による、良品質な農産物の生産により、経営基盤である農地の荒廃防止と環境保全を進める。また、水稲作付により急激な気象変化に対応するダム機能も保持し村内の環境保全を進める。	過去から保全されていない農地をどうするか。	1-(1)-③ 1-(1)-④ 1-(3) 2-(1)-①

農業用施設の多面的活用(小水力発電、新たな作物の作付による景観形成等)

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
該当なし	-	-	-	-	-

農業の6次産業化(農産物加工施設の有効活用やワイン生産などの研究等)

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
****	ワインぶどう栽培と醸造と民泊を柱に、地域循環型農業を進める	通年	災害、新型感染症、先行き不透明な経済、農業の実態を考えると、地域循環型農業を中心とした、村のあり方を進めていただきたい。国や村に大きな困難があってもお互い助け合えるような、心豊かな地域密着度の高い農業を行いつつ、小さくともキラリと光る村作りに貢献することを目標とした。	・ワインぶどう畑が村に広がると良いが、そのためにもぶどう栽培をする人を求めているかなくてはいけない。 ・村の中にワインの楽しみ方をどのように伝えていけるのかが大きな課題(今年から集会所においてワイン会開催(1回目2月はコロナウイルスのため延期))	1-(1)-④ 1-(3) 2-(2) 3-(1)

耕作放棄地の解消

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
上伊那農協中川支所	地区営農組合・農業法人の運営指導	通年	地区営農組合の事務局として、中川村との連携により、地区内の農地の利用調整により、耕作放棄地が発生しないよう、地域の担い手や法人との連携や法人の組織運営に参画し農地の受け手として、地域内へそば等の簡易栽培品種等を進める。	地区営農組合の農地利用調整機能の定着化	1-(1)-④ 2-(2)
base camp COFFEE	遊休地でのそば栽培	6月~11月	美里地区内の有志で「北方そば生産組合」を組織し、遊休農地の維持管理を目的にそばの栽培に取り組む。また作業を通じて親睦を深める。	高齢化などにより、メンバーが減少し、作業が大変になってきている。	-

****	耕作放棄地の利用	7月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県上下伊那地域でも多く栽培され、ほとんどの家庭の台所にあり、毎日のように食している「小麦」。しかし、1万年前から栽培されてきたことや、これらがどのように育っているのか、小麦の種類や使い方などを知っている人は少ない。 ・そこで、栽培方法、種類、それぞれの味の違い、料理方法及び食べ方を学ぶことで、食生活の改善を図りつつ、食に対して関心を持ってもらう「農業と料理ワークショップ」を開催。 ・ワークショップに参加した人以外にも地元産やその種類などを知ってもらうために、中川村を拠点に地元産小麦を使い、身体のことを考えた無添加の焼き菓子屋さん数店舗によるコラボ焼き菓子を研究してもらう。超高齢化社会に突入し耕作放棄地の問題はますます深刻となっていくことが予想されている。こういった畑を活かし、次世代、子育て世代の食育や、地元産小麦を使った飲食店やお菓子屋さんなどにつなげていく 	<p>コロナウイルスの関係で、屋内でのワークショップが難しいことも考えられる。その場合はネット講座に切り替えるなど柔軟なアイデアが必要。</p>	<p>1-(1)-④ 1-(3) 2-(1)-① 2-(1)-② 2-(3) 3-(1)</p>
南田島地区	荒廃農地の活用	4月～10月	南田島地区有志により荒廃農地を活用しひまわりを栽培	<p>1 荒廃農地が多数あるが、地権者が高齢のため相続上の問題があり借用等の手続きができない。</p> <p>2 地区水位が高い荒廃農地が多数あり、農地として活用できない。</p>	2-(1)-①

有害鳥獣対策

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
該当なし	-	-	-	-	-

② 森林を守り活用する取り組み (1-(1)-②)

健全な森林の育成

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
****	道路沿い森林、遊歩道の整備、ゴミ拾い	通年	西原ぶどう園に隣接している森が長年放置され、真っ暗で掛かり木が多く危険で近づけなかった。また、獣害も多発していた。二年間整備して、やっと人が入れるようになり親子が自主保育などの利用をするようになってきた。小さな子供も安心して過ごせるよう整備する。目の前のぶどう園には、村外のお客さんも多数訪れる。昨年とは新しくできた遊歩道を利用し森林浴を楽しむ観光客もいたため、入口、遊歩道などの整備を行う。新しい森林の価値を見出すことで、様々な人が永続的に関われる美しい里山の森に戻して、子供の自然離れと、森林荒廃や獣害問題を無くしていく。	<p>放置森林の荒廃がひどく、朽木だけでなく相当なゴミ不法投棄があった。2年かけて整備してきたが、未だに荒れた箇所もある。まだまだ継続が必要</p>	<p>1-(1)-④ 1-(3) 2-(1)-① 2-(1)-② 2-(3) 3-(1)</p>
中組地区	鳥獣害対策と森林の維持管理の実施	森林整備：7月頃 鳥獣害対策：4月頃～11月	<p>①中通共有山の定期道普請と地区有林の整備作業</p> <p>②鳥獣害防護柵の点検と破損箇所の修復作業</p>	<p>作業に参加する人員が少ない。山へ行くとかぶれるとか蜂に刺されるとショックを起こしやすいなどという理由で参加者の減少に拍車をかけている。</p>	1-(1)-①
沖町地区	松茸山の整備、管理	5月、7月	<ul style="list-style-type: none"> ・不要雑木の伐採等整備 ・有刺鉄線補修等（役員） 	-	-
横前地区	-	6月・9月	地区お寺山の草刈り管理を全戸で実施している（全90戸対象）。景観の維持	-	-
南田島地区	船山城址の森林整備、お宮山の森林整備	7月・9月	<p>1 船山城址の森林整備は南田島地区の有志により森林の間伐、竹等を伐採している。</p> <p>2 お宮山の森林整備は南田島地区が3つの班で毎年持ち回りで雑木・竹の伐採をしている。</p>	<p>竹林が増加しており伐採に苦慮している。</p>	1-(3)
	台風・大雨等による倒木、流木の除去	6月～11月	南田島地区区内で台風・豪雨による倒木・中小河川内の流木を除去	<p>1 保谷沢川、大澤川上流は倒木・河川内流木が多数あるが松川町のため除去ができない。</p> <p>2 保谷沢川、大澤川上流域の森林内は土砂崩れが多数発生しており、台風・豪雨時流木が多数流れてくる。</p>	<p>1-(1)-③ 1-(3)</p>

緑の少年団活動の推進

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
該当なし	-	-	-	-	-

竹林の整備、竹材の活用

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
該当なし	-	-	-	-	-

森林資源の利用促進と活用

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
該当なし	-	-	-	-	-

木質バイオマスエネルギーの活用研究

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
該当なし	-	-	-	-	-

③ 河川を守り活用する取り組み (1-(1)-③)

河川の維持管理と環境保全

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
中央地区	河川の維持管理	6月中	前沢川を中心に河川の草刈を行う。終了後、地区内の道路などの草刈り整備を行う。	-	2-(1)-①
上前沢地区	河川草刈	5月31日頃	前沢川草刈り	-	-

親水環境の整備 (利水の活用)

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
南田島地区	ほたるの保護	5月～7月	南田島地区有志により大澤川下流でほたるの保護を実施	ほたるの数が増加傾向にある	1-(3) 2-(1)-②

④ 村内で循環する経済の流れを意識する取り組み (1-(1)-④)

メイドインなかがわを意識した取り引き (地産地消)

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
中川村商工会	made in なかがわを意識した取引	10月(予定)	・JAと共同開催で「産業祭」を実施予定(10月頃) ・中川で作られた物、地元産品の販売 ・産業祭(仮)において「made in なかがわ」の商品を販売 ・中川村の商品を加工して販売(飲食店)	新しい取組の為、内容等詳細については、今後検討	1-(2)
いろいろなかがわ亭	メイドインなかがわを意識した取り引き(地産地消)	通年	・村内で栽培したそば粉を使った営業をし、野菜も地元の野菜や山菜を提供する。 ・地元産のハチミツを利用したかのこ井(ジビエ)を提供する。 ・地元産の材料を使った五平餅の販売。	本年度はコロナウイルスの関係でどうなるのか先の見通しがまったく立たない	1-(1)-① 2-(2)
base camp COFFEE	食材の地産地消	通年	飲食店として使用する食材は、自家製のもの、地域の農家さんから、地域の商店さんから仕入れている。鮮度・味はもとより、域内経済の循環やフードマイレージの観点からも継続したい。	冬～春にかけては、地のものを確保することが難しい。	-

直売所の利用促進

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
該当なし	-	-	-	-	-

里山の有効活用

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
該当なし	-	-	-	-	-

学校及び保育園給食での村内産食材の活用

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
企業組合つくっちゃオ中川	学校給食への食材の提供	通年（給食センターからの発注に対応）	村内で採れた野菜、果物など一次加工済の食材の提供（旬のわらび、蒨、竹の子については年内いっぱい提供、りんごペースト） ブルーベリー、かぼちゃの栽培、一次加工をして提供（ブルーベリージュース、かぼちゃペースト）	不作の年もあり、価格が変動するが、加工品については低価格で提供している。地産地消のために他にも取り組める作物があれば、考えていきたい。	1-(1)-① 2-(3)

(2) 商工業の活性化のために (1-(2))

人材確保と事業の継続（雇用の拡大、後継者の育成など）

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
中川村商工会	商工業の活性化	通年	・商工業振興条例により、商工会として事業へ取り組む ・通常業務の中で、事業者支援を行う	-	1-(1)-④
GOKOカメラ(株)	通年で働く場を提供する	通年	「生涯現役」をモットーにほぼ年齢制限なく、また障がいのある方も一緒に通年で雇う	年を重ねても「生涯現役」で「自立」した方達の多い村も「美しい村」と言えるのではないかと思います。体力の維持だけでなく、認知能力も低下しないよう頭の体操と称して毎月作業に関する「ルール確認テスト」を実施、結果に応じて能力給も支給しています。	2-(3)

創業支援

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
該当なし	-	-	-	-	-

特産品及びふるさと名物の開発

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
該当なし	-	-	-	-	-

(3) 持続可能な地域社会を実現するために (1-(3))

ごみの資源化、減量化（農地還元の推進、分別の徹底、野焼きの禁止など）

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
該当なし	-	-	-	-	-

環境保全型農業の推進

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
該当なし	-	-	-	-	-

基本方針2 「地域の魅力を守り育てる」ことの実現に向けて

(1) 地域資源を継承するために

① 美しい景観を維持する取り組み (2-(1)-①)

幹線道路沿線の景観形成（道路愛護、道路里親制度の推進など）

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
中川村教育委員会	美しい景観を維持する（再現する）	春～秋	村にはビューポイントがいくつかあるが、樹木にはばまれて視界がとざされているところが多い。枯れた立木を切ることで視野が開け、村の美しさが改めて認識できると思われる。たとえば、 ・長い坂の東側。ニセアカシアの枯木を切ると、小和田～東地区の天竜川の段丘が美しい。 ・横前の茶道の立木を切ると、南田島まで見わたせるビューポイントとなる。同様のポイントが村内各地にあるので、これを掘り起こして、美しい村とする。	まず1ヶ所をボランティア中心にやって、その成果をもとに広げていきたい。	-
中川観光開発株式会社	敷地出入口横花壇の整備	春～秋	望岳荘駐車場入口横の花壇を整備し景観づくりを行う。併せて敷地内花壇も美しい状態を保ち来館（来村）する人に楽しんでもらえるよう努める。	6～9月は雑草の伸びが早く、人手が不足しがち。	-
(有)富永園芸	農場付近の景観整備	-	農場付近を整備し草をとりのぞき景観を良く花を定植	人手不足や仕事との両立	3-(1)
(有)アクアロマン	自社周り清掃	春・夏・秋	ハウス周りの草刈	-	-

****	アレチウリ退治	初夏	芽が伸び始める6～7月に、ひきぬき作業を一斉にする	※この2年シルバー人材センターに委託して9月頃に作業がされているが、遅いのではと思う。全村のとりにくみとして、早い時期に一斉に。様子を見て花の咲く前に再度作業が必要となるかとも思う。	1-(1)-① 1-(2)-②
沖町地区	東福寺周辺の環境整備	年間を通して実施	昨年、廃屋状態であった東福寺の再建ができた。地区では周辺の草刈りを年2回行うほか、東福寺世話人会が中心になり、周辺の環境整備を行う予定である。地域資源に磨きをかけていきたい。	-	2-(1)-②

道路の維持管理（維持管理、花壇の整備など）

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
山のパン屋さん	道路沿いの草刈等	春～秋(通年)	お店の周りの道路土手の草刈、ゴミ拾い	土手の草の伸びが早く、草刈が大変。ゴミ拾いは少なくなってきた	-
企業組合つくっちゃオ中川	事務所前道路沿うベンダー花壇の整備	通年	3月のせん定作業、肥料やり、開花後のつみとり等、時期にあった作業	昨年までは無償の花苗が手に入る状況で、プランターへの花植えも多くできたが、今後は個人で対応せざるを得ないので、多くはできない。花壇を増やしたいが、なかなか手が回らない。	-
美里地区	道路や河川の維持管理の実施	-	地区内で年2回道作りを行っている。道路草刈り年1回。地区例会により日程を決める。	不参加者からは出不足金をもらう。高齢化により作業等大変。	1-(1)-① 1-(1)-② 1-(1)-③ 2-(2)
北組地区	春秋の道普請、道路外土手刈り、側溝井濙い、河川・道路の草刈	春秋の道普請4月上旬、10月上旬、河川道路の草刈6月中旬	地区事業として年間計画を策定し、全員参加を基本として年3回の作業を実施。出不足金は徴収しているが、高齢者家庭は低く設定している。	特に河川の草刈の場合、北組地区は3本の大きな川の作業を行うため、高齢が進む中での草刈り機などの使用の危険度も増している。また、道路の落葉また堆積した砂等の除去には極力、機械力を利用した方向で対応する。また、人員配置は年齢も考慮した配置に心がける。	1-(1)-① 1-(1)-③ 2-(1)-② 2-(2)
下平地区	道路河川愛護作業	4月、6月、10月	地区内で道普請、井濙い、草刈りを実施し、道路や河川の維持管理をしている。年に3回、祭りや行事に合わせて実施。	不参加者には出不足金を求めている。参加者の高齢化が進み作業効率落ちてきている。	1-(1)-③ 1-(3) 2-(1)-② 2-(3)
八幡平地区	道路の維持管理の実施	5月下旬、7月中旬、9月上旬	地区内の道路周辺草刈り及びゴミ拾い等(年に3回役員会で日時を決めて実施)	不参加者に出不足金を求める。若い労働力の減少	2-(2) 2-(3)
中組地区	道路や河川の維持管理の実施	道路：4・6月頃 河川：6・9月頃	①地区内で道普請を実施し、道路の維持管理をしている。 ②地区内の河川(大谷沢川)の草刈り、水路の井濙いを実施している。	中組地区においても少子高齢化が深刻な問題となっている中、地区作業に参加する人員が減少している。出不足金で解決する問題でもないが、これが現実となっている。一部の地区においては、宅地造成により定住人口が増えているが、中組地区においてはそうした状況になく、今後ますます人口の減少により地区の活力減退と環境整備が維持できなくなることが予想されます。	1-(1)-① 1-(1)-② 1-(1)-③
沖町地区	「美しい村づくり」作業(環境整備)	5月、6月、9月、10月	・河川及び村道道路肩の草刈等 ・地区林の森林多面的機能交付金事業 ・村道の冬日陰になる支障木伐採	-	1-(1)-② 2-(1)-② 2-(2) 2-(3)
三共地区	道路の清掃、河川の清掃	3月、11月	地区内道路の落ち葉清掃や河川清掃、泥上げ。地区内のきれいな道路の維持	組ごとに実施しているが、作業者の人数にばらつきがある。高齢化してきているので作業に限界あり	1-(1)-① 1-(1)-③ 2-(2)
南陽地区	道路や河川の維持管理の実施(地区道普請)	4月5日、7月5日、10月3日、12月13日	地区内で道普請、井濙いを実施、道路や水路の維持管理をしている。年4回、役員会で日を決めて実施。	支障木の伐採で人力では難しいところがある。	1-(1)-① 1-(1)-② 1-(1)-③
桑原地区	道路の維持管理の実施	不定期	地区内で道普請を実施し、道路の維持管理をしている。常会で日を決めて実施	不参加には出不足を求めているが地区内の人口減少や免除者の増加などによって人手不足が深刻になっている	1-(1)-① 1-(1)-② 2-(2)
葛北地区	道路や河川の維持管理の実施	4月、6月、12月	地区内の道普請、井濙い、草刈りを実施して道路、水路の維持管理をしている。年3回年頭に役員会で事業計画を立てる。	不参加者には出不足金を求めているが、高齢化が進み出不足金が負担になっている。免除者の線引きが難しい	1-(1)-① 2-(2) 3-(1)
柏原地区	道路、河川の維持管理	4月、6月、10月	地区内での道普請井濙いの実施	全戸出役としているが、高齢化が進み一人暮らしの老齢世帯等、免除者や作業内容の見直しが課題	1-(1)-① 2-(2)

渡場地区	道路、河川の維持管理、いちよう並木の管理	-	・道路のU字溝の泥上げ、草刈り、落葉の片付け（4・7・10・11・12月） ・いちようの剪定、肥料、草刈り、収穫（通年） ・天竜公園の整備、ベンチの清掃（2・4・7・10月） ・子ども中心の「ふるさと祭り」 ・お祭りの獅子舞（春祭り、秋祭り、元日各戸訪問）	人員が減ってきたので大変	1-(1)-① 1-(1)-③ 2-(1)-② 2-(3)
柳沢地区	共同作業	年数回	土手焼き、側溝・水路の泥上げ、草刈り、獣害防止策の手入れなど	-	1-(1)-① 1-(1)-② 1-(1)-③ 1-(3) 2-(2)
横前地区	-	3月	地区内全水路の清掃を全員で行う。地区内すべての道路を全員で行う。	-	1-(1)-③
針ヶ平地区	道路・河川の維持管理の実施	4月頃・6月頃・9月頃	地区内で道普請、井濙いを実施し道路や水路の維持管理をする。年3回役員会で日を決め実施	-	1-(1)-① 1-(1)-② 1-(1)-③ 2-(2)
小平地区	道水路普請	3月	道普請、井普請	高齢化による人手不足（シルバー人材の利用）	1-(1)-③
	小平環境保全活動	6月、11月、8月、12月	6月 村道横へのマリーゴールド定植 11月 村道横へのパンジー定植 8月 地区内の草刈り 12月 地区内の障害木の伐採	高齢化による人手不足（シルバー人材の利用）	1-(1)-① 1-(1)-②
	花々クラブ	6月	花々クラブによる国道横へのマリーゴールド定植	-	-
小和田地区	道路、河川、公園の維持管理の実施	6月頃、8月頃	・地区内で草刈り作業、道普請作業、公園整備をする予定です。 ・役員会で会合して実施。	不参加の人については年間数回行う地区のほかの作業に出不足作業で行ってもら	1-(1)-① 1-(1)-② 1-(1)-③ 2-(2)
中央地区	道路の維持管理	11月頃	地区内の道路（枝切りほか）、水路（管理手入れ）などの作業	-	1-(1)-③
中通地区	道路や河川の維持管理の実施	6月、8月	地区内道路・河川の草刈りなどの維持管理（6月は全戸、8月は役員のみ）	河川の草刈りはできれば2回行うことが望ましいが、普段の生活に支障がないため、皆課題という意識がない	1-(1)-① 1-(1)-② 1-(1)-③ 2-(2) 2-(3)
上前沢地区	道路側溝清掃	12月6日	井濙いを実施・道路や水路の維持管理をする	-	-
田島地区	-	6月頃	地区内で道普請、道路と水路の草刈り管理をしている	今のところ人口減の面では地区内では大丈夫です	1-(1)-① 1-(1)-② 1-(1)-③ 2-(2)
中田島地区	道路や河川の維持管理の実施	3月・6月	3月頃、地区内で道普請、井濙いを全戸出役で行い、道路や水路の維持管理を実施 6月頃、地区内の道路側溝と河川の草刈りを全戸出役で行い道路の維持管理を実施	不参加者には出不足金を求めているが老若男女問わないので不参加者は少ない	1-(1)-③ 2-(2)
南田島地区	道路や河川の維持管理	3月、6月、7月、11月	地区内で道普請、保谷沢川の草刈、地区内の道路・国道153号線土手の草刈、地区内道路沿いのゴミ拾い	1 不参加者には出不足金を求めているが、高齢者・女性のみ家庭が増加し作業時間が増加。田畑の耕作を集約しているため年1回の道路沿いの草刈りでは対応不可能。 2 保谷沢川の草刈は天竜川との合流地点から上流約300mの間、保谷沢川の村道（旧153号線）橋梁上下流の間が土砂堆積で水深が深くなっているととも年1回の草刈では草が伸び土砂災害対応に問題がある。このため、定期的に土砂の浚渫が必要	1-(1)-③ 1-(3) 2-(2)
牧ヶ原地区	-	4月、6月、8月	・地区内で井濙い、ゴミ拾いを実施し、道路や水路の維持管理をしている。 ・地区内で草刈りを行い、美しい景観を維持管理をしている。年3回役員会で日を決めて実施。	地区の特色上、女性や高齢者が多く草刈りの場所も広いため、負担が大きいと感じています。今後、免除者の増加などで、作業の継続が負担と感じる方が多くなると思います。	2-(2)
南原地区	-	5月、6月、8月、11月	地区周辺の草刈りを実施し、道路や水路の維持管理をしている。年に4回、役員会で日を決めて実施。	-	-

ごみ拾い活動

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
中川中学校	クリーンなかがわ	通年	生徒によるごみ拾い活動。月1回、各自が通学路のごみを拾いながら登校する。	ただごみを拾うだけの活動ではなく、生徒の手で中川村の環境をよくしたいという目的を大切にしたい呼びかけが行われている。また世界的なゴミ問題にも目を向け、ゴミを出さない意識も高めていきたい。	-
中川村建設業協会	道路クリーン作戦	6月	国道、県道沿いのゴミ拾い	-	-
宮下建設工業(株)	中川村建設業協会への参加	6月～7月頃	道路クリーン作戦や危険箇所調査などに参加、協力する	-	-
田島建設(株)	本社前道路のゴミ拾い(坂戸橋～トンネル間)	秋	坂戸橋からトンネルまでガードレール内外のゴミ拾い	駅伝大会に併せ継続的に実施している。	2-(2)
豊信合成(株)	豊信合成(株)	通年	①毎月1回会社周辺のごみ拾いを行い、美しい景観を維持する ②会社エントランスをリニューアルし、会社紹介コーナーの他に中川村紹介コーナーを新設し県外からの来訪者に対するアピールができるよう随時情報を更新する ③交通安全立哨を行い、地域全体で子どもの安全を守る	-	2-(1) 3-(1)
三共地区	ごみ拾い	5月～6月	地区内道路側溝のごみ拾い、保健部での美化運動の一環として実施	年によりごみの量に変化あり	1-(1)-③
中田島地区	道路・河川のごみ拾い	6月	6月頃、地区内の道路・河川のごみ拾いを全戸出役で実施。道路・河川の草刈り作業と合わせて実施。	-	2-(2)

景観に配慮した看板の更新

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
該当なし	-	-	-	-	-

公園、緑地の維持管理と活用

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
中川村商工会	坂戸整備	-	坂戸周辺の環境整備 草刈り、ゴミ拾い、花壇の整備	青年部で行っているが、部員減少により、参加者が少なくなっていく	-
base camp COFFEE	陣馬形山の清掃	4月～12月	美里地区の有志で組織し、当番で陣馬形山キャンプ場周辺の清掃活動に取り組んでいる。	連休など利用者が多い時期は、トイレの汚れやゴミのポイ捨てが多く、大変な作業である。	-
柏原地区	桜公園(眺竜園)の管理	4月、10月	下草刈りと枯木の対応	ソメイヨシノの寿命により枯木が目立つが作業が高所化してきているのが緊急の課題	1-(1)-① 2-(2)
中田島地区	公園・農道の維持管理	3月	3月頃、地区公園に山砂を入れる。未舗装の農道に採石を入れる。道普請、井汲い作業に合わせて実施	-	2-(2)
南田島地区	公園の草刈り	6月・8月・10月	南田島地区公園の草刈り	南田島地区を3班に区分し、各班順に草刈りを実施している。	-

環境に配慮した公共工事の推進(道路石積みやガードレールなど構造物への配慮等)

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
中川村建設業協会	村内危険箇所調査	7月	村内の道路、河川、山林などを見回り、危険箇所を見つけ、住みやすい環境を維持する	-	-

② 魅力ある文化や営みを引き継ぐ取り組み(2-(1)-②)

地域文化の継承(地域伝統芸能、祭事、年中行事、営みの技術や知恵など)

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
中川東小学校	-	①5月②秋③夏④通年⑤5年⑥6年	①茶つみ(全校)、②竹トンボ作り(6年)、③緑の少年団(5、6年)、④通学路のゴミひろい(全校)、⑤米づくり(5年)、⑥ブッポウソウの保護活動(6年)	-	1-(1)-① 1-(1)-②
北組地区	北組環境保全活動、北組地区保存会の活動	農村環境保全活動8～3月例祭への出演4・10月	・北組環境保全活動の一つとして、そば栽培を地区全体の取組として実施。8月に播種し11月に刈取り、3月にそば打ち会を実施。 ・地区保存会は地区内住民ほぼ全員加入し、神社と協力して、春、秋の例祭時の獅子舞のお練りの練習と祭り当日の出演、また、松づくし義士踊り等の練習も行う	特に保存会の関係では、後継者の人数が不足しており、今後の技の承継が困難になっている。	1-(1)-① 1-(1)-③ 2-(1)-①

柳沢地区	各種祭	-	春祭り（４月）、夏祭り（８月）、風祭り（８月末）、収穫祭（１０月）、ほんやり（１月）、五平餅祭（４月）（ほんやりと五平餅祭は隣組単位で）	-	2-(2) 2-(3)
横前地区	-	４月	小学生による地区伝統の踊り	少子化により人数が不足している	-
南田島地区	熊野社のお祭り	４月・１０月	南田島地区は、獅子舞保存会をつくり子どもたちにおかめ踊りを指導して伝統文化を伝えている。毎年３月に練習し、春祭り当日、獅子舞と子どもたちのおかめ踊りを奉納している。秋祭りは、獅子舞の奉納をしている。	獅子舞は、獅子舞保存会を作り、月１回練習日を決めて活動している。おかめ踊りは、子どもたちの人数が少なく、将来の継承が問題である。	1-(3) 2-(2) 2-(3)

地域文化の振興

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
****	地区の行事への参加	通年	お祭り、地区内又は村内横のつながりの勉強会や交流会に参加	「積極的に」「楽しんで」参加できると良いが、どうか？	1-(3) 2-(1)-① 2-(2) 2-(3) 3-(1)
柳沢地区	葛島区活動	-	敬老会（２月）、区民運動会（１０月）	-	2-(2)

歴史的遺産、歴史的景観、文化財の保存・保全

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
****	長野県の天然記念物であるブッポウソウの保護活動	４月から１１月	ブッポウソウの里の会（会長：伊佐榮豊）では、長野県の天然記念物であり、中川村の天然記念物にも指定されているブッポウソウの保護活動をおこなっている。繁殖数は県下一となっている。巣箱の制作、設置、見守り活動の他、観察会の開催、写真展の開催（「美しい村のブッポウソウ」、「美しい村の野鳥たち」）等を行い、地域資源を知っていただく活動にも力を入れ取り組んでいる。自然環境の保護は、「美しさ」の一つと考えている。	昨年は長野県森林税を活用して活動をおこなったが、今年からは制度上助成は受けられない。多くを会員の会費で運営しているので資金的に厳しい。その中でもＪＡ中川支所の寄付を頂いており、有難い。昨年は中川東小学校では授業の中で、巣箱の製作、巣箱かけ、観察会を組んでいただいた。環境教育は大切と考えているので継続して協力していきたい。	1-(1)-① 2-(1)-① 2-(3)
****	ツツザキヤマジノギクの定植活動	毎年６月予定	ツツザキヤマジノギクは長野県の絶滅危惧種ⅠＡに記載されているもの。５年前から村内での定着活動を行っているが、今年は昨年に引き続き、東西両小学校３年生児童による、ツツザキヤマジノギクの花壇への定植を行う。あわせて、かつて自生地であった陣馬形山山頂への定植活動を引き続き行う。	県条例の規定があるので、自治体に参加する「ツツザキヤマジノギク保全協議会」の設立が必要になっている。中川村植物観察・保全の会だけでは背負いきれない。	2-(1)-① 2-(3)

(2) 地域力を維持するために (2-(2))

地区運営の効率化

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
****	飯沼地区カレーを楽しむ会	年度後半	カレー（加齢・華麗）を作って食べる。高齢者を対象に始めて、順に子どもたち、青年にも広げていけるといいなと考える。サロンのような位置づけにもなるか？地域での交流を深める	案として持っている段階である	2-(3)

地域の担い手の育成

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
該当なし	-	-	-	-	-

子育てをしやすい環境づくり

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
該当なし	-	-	-	-	-

結婚活動の支援

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
該当なし	-	-	-	-	-

空き家等の活用

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
該当なし	-	-	-	-	-

分譲地の整備

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
中川村土地開発公社	宅地分譲地造成事業	-	7区画分譲中。定住促進・少子化対策のための宅地分譲地の販売を行う。	-	-

公営、村営住宅の整備

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
該当なし	-	-	-	-	-

帰郷、移住、定住支援

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
該当なし	-	-	-	-	-

(3) 地域の中で子どもを育てる (2-(3))

地域の子ども会活動の推進

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
南田島地区	子ども魚つかみ取り大会	8月	保谷沢川を利用して、池州を作り魚を放流して、子どもたちが釣り及びつかみ取りをする。	毎年実施しており、ふるさとの川で遊ぶことが、子どもたちの心に残る夏休みの行事となっている。今年も続けていきたいが、子どもの人数が減少していくことが心配される。	2-(1)-② 2-(2)

信州型コミュニティスクールの深化

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
該当なし	-	-	-	-	-

キャリア教育の推進

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
中川中学校	中川村キャリア教育フォーラム	11月末～12月上旬の1日(予定)	令和元年度は、中学2年生が中心となり、村内の事業主さんと中川村の未来を考え、ディスカッションを行った。「なかなか中川いいところ」というテーマを掲げ、「中川村0円食堂」などの魅力的な企画を現在進めている。	参加者からは「中学生が中川村のことを真剣に考えていて頼もしく嬉しかった」との感想をいただき、生徒からは「中川村で働けることに喜びや楽しさを感じていてステキだと思った」等の感想があり、中川村の将来を支える中学生の視点で、今後も継続的な取組をしていく。	2-(2)

郷土学習・ふるさと愛教育の推進

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
いろりながわ亭	地域文化の継承	随時	中学の総合学習の中で郷土食である五平餅の作り方の講習を行う	中学校の授業予定により本年は実施できないかもしれない	2-(2)

青少年健全育成の推進

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
該当なし	-	-	-	-	-

自然保育（信州やま保育）の推進

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
該当なし	-	-	-	-	-

基本方針3 「中川村ファン」づくりの実現に向けて

(1) 交流人口を増やし暮らしの豊かさに誇りを持つために (3-(1))

交流人口を増やす取り組み

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
該当なし	-	-	-	-	-

地域資源を活用した新たなサービスの創出

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
該当なし	-	-	-	-	-

都市と農村交流の促進

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
****	中川村くだもの狩り、名所めぐり、食事会	年間	春の桜、花桃他村内の名所めぐり 花めぐり 夏野菜の収穫、加工等 秋 くだもの収穫、名所めぐり 冬 室内でできる加工作業 等	準備、計画をきちんとしながらも一緒に楽しむようにする 他 中川の色々を紹介する	1-(1)-④

グリーンツーリズム（ファームサポート、農家民泊など）の拡大

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
(有)富永園芸	さくらんぼ、ブルーベリー狩り	6月から8月（天候により果樹生産が不安定）	期間が短いため、オーナー制度を活用して、育てるところから一年をとおして村へ来てもらえるようにしたい。	ハウスで一年中できる果樹ができるような栽培方法や作物を取り入れたい。	2-(1)-①

観光資源の活用（観光施設整備と活用、観光プログラムの企画開発など）

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
該当なし	-	-	-	-	-

美しい村連合加盟町村との連携強化

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
該当なし	-	-	-	-	-

ファンがファンを呼ぶ仕組みづくり

提出者	事業名称	実施時期	内容	取り組みの課題など	関連項目
該当なし	-	-	-	-	-

※提出者について個人会員名は非表示